

在院少年の意識の変容に関する研究（その2）

矯正協会附属中央研究所 大川 力
 長谷川宜志
 田島 秀紀
 茂木善次郎
 横浜少年鑑別所 濱井 郁子*

キーワード：社会的スキル、自由記述、自己内省、少年院教育

1 はじめに

本研究は、紀要第10号に発表した第1報告の続報である。第1報告では、「共感性」「職業レディネス」「自尊感情」の3項目に関して、少年院入院直後と出院間近の少年の調査結果を比較検討することによって、矯正教育による意識の変容を探ろうとした。今回の報告では、社会的スキル尺度の回答結果と、出院期の少年を対象とした自由記述による自己内省報告について分析検討を行う。

2 方法

調査の対象者と内容は第1報告と同じであるが、ここではその主要な点を確認することとする。

(1) 調査対象者

1999年10月1日から同年11月30日までの間に、医療少年院を除く全国48庁の少年院に在院した少年のうち、新入期及び出院期の者1,861名を対象者として調査したが、そのうち未記入の部分が多かった者については除外し、男子1,674名（新入期863名、出院期811名）、女子176名（新入期96名、出院期80名）を有効な調査対象者とした。

(2) 調査内容

今回報告の2項目の実施方法は、次のとおりである（調査全体の実施方法は、前回報告に記載したとおりである。）。

ア 社会的スキル尺度

この尺度は菊池（1988）によるものであり、社会場面で具体的な課題を円滑に遂行するのに必要な特定の能力の獲得の度合いを測るものである。

イ 自己内省

この事項は少年院生活についての内省報告を求めるものであり、出院期の少年のみを対象として調査した。設問を「少年院での生活を体験して、自分のどこが変わったと思いますか、3つまで自由に書いてください。また、それはどうして変わったと思いますか、理由も書いてください」として、少年院生活で自らが変わったと思う点についての内省を自由に記述させた。

また、「少年院生活を体験しても変わらなかったという点」についても、理由とともに3つまで記述させた。

*前矯正協会附属中央研究所

3 結果

(1) 社会的スキル尺度

社会的スキル尺度の18項目について、全調査対象者を男女別に回答分布を見たものが表1及び表2である。

ア 分析

方法としては、「そのとおり」と「まあそのとおり」を合わせて肯定回答とし、「ちがう」と「すこしちがう」を合わせて否定回答として、特徴を拾い出してみた。ただし、逆転項目では「ちがう」と「すこしちがう」を合わせて肯定回答とし、「そのとおり」「まあそのとおり」を合わせて否定回答とした。

①18項目の質問のうち、男子は10項目、女子は9項目において、肯定回答率が否定回答率を上回っており、この尺度で測定した限りでは、少年自身は社会的スキルが身に付いていると認識しているものと思われる。

②否定回答率が肯定回答率を上回る項目で、男女に共通しているのは8項目であった。共通に見られた項目は、「2 人にこうして欲しいと思うとき、それをうまく伝えることができない」「3 私は人を助けていくことが上手だ」「6 まわりの人たちとの間で行き違いがあっても、うまく片付けられる」「9 仕事をするときに、何をどうしたらいいか、自分ではなかなか決められない」「11 相手から文句を言われても、それをうまく切り抜けることができる」「12 物事がうまくいかないとき、どこがまずかったかをすぐに見つけることができる」「14 一つのことについて、相手によっていろいろ違ったことを言われると、どうしたらいいか分からなくなってしまう」「15 初めて会った人に上手に自己紹介できる」である。

共通でない項目は、女子における「7 怖いことや恐ろしいことがあると、どうしたらいいか分からなくなってしまう」のみであった。

③最も肯定回答率が高かった項目は、男子では「16 何か失敗したときに、すぐその場で謝ることができる」(65.9%)で、女子では「13 自分の感情や気持ちを、そのまま表面に出せる」(53.5%)である。

逆に、最も否定回答率が高い項目は、男女ともに、「2 人にこうして欲しいと思うとき、それをうまく伝えることができない」であり、男子は57.9%、女子は56.8%であった。

イ 初入群・再入群と入院期・出院期の得点比較

社会的スキル尺度の5つの回答形式「ちがう」「すこしちがう」「どちらともいえない」「まあそのとおり」「そのとおり」それぞれについて1点から5点の得点を与え、18項目の合計を社会的スキル得点とした。社会的スキルが高いほど得点も高くなるよう、逆転項目については変換して使用した。なお、以降の逆転項目についても同様である。表3及び表4は社会的スキル尺度の18項目について、属性別・男女別に平均点を見たものである。

①出院期が入院期の得点よりも高かった項目は、男子の初入群において「9 仕事をするときに、何をどうしたらいいか、自分だけではなかなか決められない(逆転項目)」「13 自分の感情や気持ちを、そのまま表面に出せる」「14 一つのことについて、相手によっていろいろ違ったことを言われると、どうしたらいいか分からなくなってしまう(逆転項目)」「18 自分だけで仕事の目標が立てられる」の4項目であった。また、男子再入群については「9 仕事をするときに、何をどうしたらいいか、自分だけではなかなか決められない(逆転項目)」「12 物事がうまくいかないとき、どこがまずかったかをすぐに見つけることができる」の2項目であった。

一方、女子については、初入群の「9 仕事をするときに、何をどうしたらいいか、自分だけではなかなか決められない(逆転項目)」の1項目で有意差が見られている。

表1 社会的スキル回答分布（男子）

項 目	そのとおり	まあ そのとおり	どちらとも いえない	すこし ちがう	ちがう	無回答
1 人と話しているとき、話がとぎれることはあまりない	17.7	26.6	26.6	18.0	10.9	0.2
② 人にこうして欲しいと思うとき、それをうまく伝えることができない	25.8	32.1	18.1	13.6	10.2	0.1
3 私は人を助けていくことが上手だ	6.0	13.7	48.9	20.4	10.9	0.2
4 相手が怒っているときに、うまくなだめることができる	13.3	27.4	32.9	15.1	11.1	0.4
5 知らない人とでも、すぐに話が始められる	26.9	22.6	16.7	15.4	18.0	0.3
6 まわりの人たちとの間で行き違いがあっても、うまく片付けられる	9.3	20.1	38.7	19.4	12.2	0.3
⑦ 怖いことや恐ろしいことがあると、どうしたらいいか分からなくなってしまう	15.8	22.0	20.9	23.8	17.4	0.1
8 気まずいことがあった相手とも、うまくやっつけていける	16.0	27.7	25.1	17.5	13.5	0.1
⑨ 仕事をするときに、何をどうしたらいいか、自分だけではなかなか決められない	17.8	26.2	18.0	20.4	17.3	0.3
⑩ 人が話している中には、気軽に聞いていけない	13.9	19.8	23.6	22.9	19.7	0.1
11 相手から文句を言われても、それをうまく切り抜けることができる	13.7	21.9	27.5	19.4	17.4	0.2
12 物事がうまくいかないとき、どこがまずかったかをすぐに見つけることができる	8.5	22.6	28.6	26.7	13.3	0.4
13 自分の感情や気持ちを、そのまま表面に出せる	28.4	24.9	21.3	14.5	10.7	0.2
⑭ 一つのことについて、相手によっていろいろ違ったことを言われると、どうしたらいいか分からなくなってしまう	20.7	28.3	22.8	16.0	11.6	0.5
15 初めて会った人に、上手に自己紹介することができる	15.3	18.5	24.4	23.5	18.1	0.2
16 何か失敗したときに、すぐその場で謝ることができる	36.0	29.9	16.6	11.2	6.2	0.1
17 まわりの方の考えと自分の考えが違っていても、うまく合わせていくことができる	19.7	29.3	27.1	15.5	8.2	0.2
18 自分だけで、仕事の目標が立てられる	25.2	25.9	26.7	14.3	7.8	0.1

注1) 項目番号が○で囲まれているのは、逆転項目である。
注2) 数値は構成比を示す。

表2 社会的スキル回答分布（女子）

項 目	そのとおり	まあ そのとおり	どちらとも いえない	すこし ちがう	ちがう	無回答
1 人と話しているとき、話がとぎれることはあまりない	14.8	25.0	36.4	14.8	9.1	
② 人にこうして欲しいと思うとき、それをうまく伝えることができない	29.0	27.8	21.0	13.6	8.5	
3 私は人を助けていくことが上手だ	2.8	8.0	53.4	18.8	17.0	
4 相手が怒っているときに、うまくなだめることができる	8.5	25.0	40.9	9.1	15.3	1.1
5 知らない人とでも、すぐに話が始められる	27.3	22.7	17.6	16.5	15.9	
6 まわりの人たちとの間で行き違いがあっても、うまく片付けられる	6.3	13.6	38.6	22.2	19.3	
⑦ 怖いことや恐ろしいことがあると、どうしたらいいか分からなくなってしまう	31.3	24.4	18.2	18.8	7.4	
8 気まずいことがあった相手とも、うまくやっつけていける	15.3	26.1	29.5	18.2	10.8	
⑨ 仕事をするときに、何をどうしたらいいか、自分だけではなかなか決められない	19.9	26.1	24.4	17.0	12.5	
⑩ 人が話している中には、気軽に聞いていけない	14.8	20.5	28.4	15.9	20.5	
11 相手から文句を言われても、それをうまく切り抜けることができる	9.7	18.2	29.0	20.5	22.7	
12 物事がうまくいかないとき、どこがまずかったかをすぐに見つけることができる	6.3	17.6	36.4	21.6	18.2	
13 自分の感情や気持ちを、そのまま表面に出せる	33.0	20.5	23.3	12.5	10.8	
⑭ 一つのことについて、相手によっていろいろ違ったことを言われると、どうしたらいいか分からなくなってしまう	23.3	28.4	22.7	15.9	9.7	
15 初めて会った人に、上手に自己紹介することができる	16.5	16.5	27.3	17.6	22.2	
16 何か失敗したときに、すぐその場で謝ることができる	27.3	25.6	22.7	13.1	11.4	
17 まわりの方の考えと自分の考えが違っていても、うまく合わせていくことができる	15.9	21.6	33.5	18.8	10.2	
18 自分だけで、仕事の目標が立てられる	23.3	20.5	33.0	13.1	10.2	

注1) 項目番号が○で囲まれているのは、逆転項目である。
注2) 数値は構成比を示す。

表3 社会的スキルの項目別平均点 (男子)

項目	初入群						t値	再入群						t値
	新入期 (727)			出院期 (707)				新入期 (136)			出院期 (104)			
	欠損値	平均点	S D	欠損値	平均点	S D		欠損値	平均点	S D	欠損値	平均点	S D	
1 人と話しているとき、話がとぎれることはあまりない	3	3.37	1.18	1	3.10	1.28	4.036 *	1	3.15	1.28	5	3.12	1.29	0.395
② 人にこうして欲しいと思うとき、それをうまく伝えることができない	2	2.55	1.28		2.47	1.28	1.214	1	2.44	1.30	5	2.46	1.35	-0.145
3 私は人を助けていくことが上手だ	2	2.90	0.95	1	2.82	1.02	1.468	1	2.56	1.00	5	2.82	1.07	-1.814
4 相手が怒っているときに、うまくなだめることができる	2	3.25	1.13	3	3.13	1.20	1.906	1	2.98	1.19	5	3.11	1.20	-0.604
5 知らない人とも、すぐに話しが始められる	4	3.31	1.40	1	3.19	1.49	1.623	1	3.27	1.47	5	3.30	1.57	0.051
6 まわりの人たちとの間で行き違いがあっても、うまく片付けられる	4	3.03	1.10		2.88	1.14	2.618 **	1	2.85	1.06	5	3.04	1.19	-1.075
⑦ 怖いことや恐ろしいことがあると、どうしたらいいかわからなくなってしまう	2	2.87	1.32		3.21	1.32	-4.938	1	3.16	1.35	5	3.06	1.41	0.326
8 気まずいことがあった相手とも、うまくやっつけてける	2	3.28	1.22		3.08	1.32	3.073 **	1	3.04	1.23	5	2.90	1.24	1.101
⑨ 仕事をするとき、何をどうしたらいいか、自分だけではなかなか決められない	3	2.82	1.35	1	3.04	1.38	-3.023 **	1	2.76	1.39	5	3.17	1.33	-2.440 *
⑩ 人が話している中には、気軽に入っていけない	2	3.16	1.30		3.16	1.36	0.102	1	3.07	1.24	5	3.08	1.40	-0.163
11 相手から文句を言われても、それをうまく切り抜けることができる	3	3.02	1.22		2.90	1.35	1.763	1	2.81	1.29	5	3.00	1.31	-1.030
12 物事がうまくいかないとき、どこがまずかったかをすぐに見つけることができる	3	2.87	1.11	2	2.87	1.19	0.032	1	2.58	1.17	5	3.04	1.30	-2.925 *
13 自分の感情や気持ちを、そのまま表面に出せる	3	3.29	1.31		3.65	1.30	-5.229 **	1	3.35	1.38	5	3.57	1.36	-1.185
⑭ 一つのことについて、相手によっていろいろ違ったことを言われると、どうしたらいいかわからなくなってしまう		2.63	1.23	3	2.80	1.31	-2.393 **	1	2.47	1.31	5	2.68	1.43	-1.246
15 初めて会った人に、上手に自己紹介することができる	2	2.97	1.30	1	2.80	1.33	2.397 *	1	2.84	1.31	5	3.10	1.41	-1.270
16 何か失敗したときに、すぐその場で謝ることができる	2	3.94	1.12		3.64	1.27	4.821 **	1	3.76	1.28	5	3.73	1.32	0.300
17 まわりの方の考えと自分の考えが違っていても、うまく合わせていくことができる	2	3.42	1.12	1	3.28	1.25	2.234 *	1	3.41	1.27	5	3.58	1.22	-0.676
18 自分だけで、仕事の目標が立てられる	2	3.41	1.20		3.56	1.21	-2.378 *	1	3.33	1.34	5	3.42	1.32	-0.225

注1) 項目番号が○で囲まれているのは、逆転項目である。

注2) *は有意水準5%以下,**は有意水準1%以下でそれぞれ有意差があることを示す。

表4 社会的スキルの項目別平均点 (女子)

項目	初入群						t値	再入群						t値
	新入期 (727)			出院期 (707)				新入期 (136)			出院期 (104)			
	欠損値	平均点	S D	欠損値	平均点	S D		欠損値	平均点	S D	欠損値	平均点	S D	
1 人と話しているとき、話がとぎれることはあまりない		3.57	1.03		2.84	1.14	4.223 **		3.11	1.36		2.80	1.14	0.542
② 人にこうして欲しいと思うとき、それをうまく伝えることができない		2.51	1.26		2.41	1.35	0.439		2.33	1.00		2.30	1.25	0.064
3 私は人を助けていくことが上手だ		2.72	0.94		2.50	0.99	1.454		2.33	1.00		2.60	0.84	-0.064
4 相手が怒っているときに、うまくなだめることができる		3.15	1.08		2.90	1.20	1.376		2.78	1.39		3.00	1.15	-0.631
5 知らない人とも、すぐに話しが始められる		3.56	1.31		3.01	1.48	2.464 *		3.22	1.56		2.90	1.73	-0.380
6 まわりの人たちとの間で行き違いがあっても、うまく片付けられる		2.93	1.08		2.34	1.09	3.387 **		2.22	0.97		2.80	1.40	0.424
⑦ 怖いことや恐ろしいことがあると、どうしたらいいかわからなくなってしまう		2.52	1.33		2.43	1.28	0.422		2.11	1.05		2.60	1.58	-1.034
8 気まずいことがあった相手とも、うまくやっつけてける		3.33	1.15		2.93	1.28	2.088 *		3.22	0.97		3.40	1.35	-0.784
⑨ 仕事をするとき、何をどうしたらいいか、自分だけではなかなか決められない		2.53	1.26		3.11	1.32	-2.833 **		3.00	1.22		2.10	0.88	-0.326
⑩ 人が話している中には、気軽に入っていけない		3.15	1.25		3.13	1.42	0.098		2.22	1.09		2.70	1.42	1.858
11 相手から文句を言われても、それをうまく切り抜けることができる		2.78	1.26		2.51	1.19	1.354		3.11	1.69		3.20	1.40	-0.125
12 物事がうまくいかないとき、どこがまずかったかをすぐに見つけることができる		2.77	1.06		2.66	1.20	0.624		2.44	1.01		3.00	1.49	-0.938
13 自分の感情や気持ちを、そのまま表面に出せる		3.43	1.40		3.61	1.28	-0.873		3.33	1.12		3.90	1.60	-0.887
⑭ 一つのことについて、相手によっていろいろ違ったことを言われると、どうしたらいいかわからなくなってしまう		2.60	1.19		2.66	1.41	-0.287		2.78	1.20		2.10	0.99	1.345
15 初めて会った人に、上手に自己紹介することができる		3.06	1.38		2.66	1.34	1.828		2.67	1.50		3.00	1.33	-0.513
16 何か失敗したときに、すぐその場で謝ることができる		3.69	1.18		3.24	1.35	2.211 *		2.67	1.50		3.40	1.78	-0.966
17 まわりの方の考えと自分の考えが違っていても、うまく合わせていくことができる		3.30	1.11		2.97	1.22	1.760		2.78	1.20		3.30	1.70	-0.764
18 自分だけで、仕事の目標が立てられる		3.26	1.24		3.50	1.26	-1.173		2.89	1.05		3.20	1.48	-0.523

注1) 項目番号が○で囲まれているのは、逆転項目である。

注2) *は有意水準5%以下,**は有意水準1%以下でそれぞれ有意差があることを示す。

②出院期の得点が入院期の得点よりも低かった項目は、男子の初入群では、「1 人と話しているとき、話がとぎれることはあまりない」「6 まわりの人たちとの間で行き違いがあっても、うまく片付けられる」「8 気まずいことがあった相手とも、うまくやっていける」「15 初めて会った人に、上手に自己紹介することができる」「16 何か失敗したときに、すぐその場で謝ることができる」「17 まわりの人たちとの間で行き違いがあっても、うまく片付けられる」の6項目で、男子再入群では該当する項目はみられなかった。

一方、女子の初入群では、「1 人と話しているとき、話がとぎれることはあまりない」「5 知らない人とでもすぐに話が始められる」「6 まわりの人たちとの間で行き違い

があっても、うまく片付けられる」「8 気まずいことがあった相手とも、うまくやっていける」「16 何か失敗したときに、すぐその場で謝ることができる」の5項目にみられたが、女子の再入群では該当項目はなかった。

③社会的スキル得点を、性別、初入群・再入群別及び新入期・出院期別に平均得点を算出し、比較を行った結果が表5である。女子初入群で新入期と出院期の間で有意な差が認められ、出院時の得点は入院時の得点よりも有意に低くなっていた。

表6は、社会的スキルに対する男女間の比較をしたものである。男子が女子よりも有意に高い得点を示している。

また、男女・年齢群別の平均得点等は表7のとおりであり、男女ともに有意な差は認められなかった。年齢群は15歳以下を年少群、

表5 社会的スキル得点

性別	種別	人員	得点	S D	t 値		
男	初入群	新入期	716	56.10	10.64	0.858	
		出院期	693	55.60	10.86		
	再入群	新入期	135	53.85	10.14	-1.594	
		出院期	99	56.18	12.17		
	子	新入期合計		851	55.74	10.59	0.119
		出院期合計		792	55.68	11.03	
初入群合計		1,409	55.85	10.75	1.332		
再入群合計		234	54.84	11.08			
女	初入群	新入期	86	55.02	10.99	2.003*	
		出院期	69	51.35	11.80		
	再入群	新入期	9	49.22	12.53	-0.549	
		出院期	10	52.30	11.91		
	子	新入期合計		95	54.47	11.20	1.724
		出院期合計		79	51.47	11.74	
初入群合計		155	53.39	11.47	0.909		
再入群合計		19	50.84	11.96			

注1) 無回答のあった者は除外したため、人員は表3とは一致しない。

注2) *は有意水準5%以下でそれぞれ有意差があることを示す。

表6 性別による社会的スキル得点のt検定

性別	人員	得点	S D	t 値
男子	1,643	55.71	10.80	2.999**
女子	174	53.11	11.51	

注) **は有意水準1%以下で有意差があることを示す。

16歳・17歳を中間群, 18歳・19歳以上を年長群とした。参考までに菊池ら(1994)による高校生等の得点を揚げたが, 今回調査した非行群の男子は高校生男子よりも高く, 大学生よりも低い得点を示しているが, 今回調査した非行群の女子は高校生女子に近い値を示している。

表7 性別・年齢群別社会的スキル尺度得点

性別	年齢群	人員	平均	SD	F値
男子	年少群	168	55.76	10.37	2.015
	中間群	660	55.08	11.04	
	年長群	815	56.21	10.68	
	計	1,643	55.71	10.80	
女子	年少群	27	51.11	9.66	0.846
	中間群	75	52.68	12.40	
	年長群	72	54.31	11.19	
	計	174	53.11	11.51	

社会的スキル尺度得点 (参考)

種別	人員	平均	SD
教師(男)	45	61.82	9.41
大学生(男)	83	56.40	9.64
大学生(女)	121	58.35	9.02
短大生(女)	112	56.10	7.01
高校生(男)	106	53.98	7.45
高校生(女)	57	53.47	9.06

(2) 自己内省

ア 整理方法

この調査事項は, (2)調査内容で示したとおり, 他の事項で用いた質問項目に対する回答を選択する方法とは異なり, 自由記述により内省報告を求めたものである。その目的は, 院生自らが, 少年院生活の体験を通して「変わったと思うこと」「変わらなかったと思うこと」について, どの様に意識しているかを捉えることにあった。

それぞれ3つまで記述させ, その理由を述べさせたが, 反応が1つとか2つであった者がいたり, 質問の意味を取り違えている者がい

たりして, 反応数は対象者の人員とは必ずしも一致しない。

自由記述であるため, 特に定まった整理方法がなく, 「変わったと思うこと」についての回答を類似の内容ごとにまとめ, さらにそれら大項目に分類した。例えば, 「人の気持ちが分かるようになった」「思いやりが持てるようになった」「人に対して優しくなれた」などを一つの群としてまとめた。特に「性格・行動」は分類に困難なものが多く, 多数の下位項目を構成することとなった。

「変わったと思うこと」「変わらなかったと思うこと」の理由については, 一つ一つの反応により異なるので, 分類をせずに考察の際に参考にすることとした。

以上の条件から数量的な細かい考察は誤りを犯す危険性があるため, 大づかみにしながら考察を進めたい。

なお, 女子については, 男子と同様の方法で整理したが, データ数は男子の約10分の1であり, これを項目別に分類するとさらに少数となるため, 分析にはより一層慎重であることを要した。

イ 変わったと思うこと

表8は, 男子の「変わったと思うこと」についての分類である。まず目に付くのは, 対人関係に関する事柄の多いことである。人間関係が希薄になりつつある現代の世の中で, 少年院という環境は, 人間関係の在り方について学ぶ場になっているといえる。

特に「人の気持ちを考える, 思いやる, 優しくする」という共感性について, 変わったという意識を持つ少年が多いことが認められる。その理由としては, 「教官の指導」「寮生からの助言」「内観指導」といったものがあるが, 最も多い理由は, 「集団生活をしていく中で, 自分勝手な生活をしていては, 良い生活が出来ないことに気付いた」というものである。

また, 「家族, 特に父母に対する気持ち,

考え方が変わった」として、「有難さ」「大切さ」「迷惑を掛けた事に気付いた」ことを挙げている。その理由は、父母が面会に来てくれたことが圧倒的に多数を占めている。

その他対人関係では、「人と協調・協力する」「人の立場・考え方を尊重する・理解する」「人に謙虚になる・譲る」など人間関係を円滑に保つために必要な態度を学んだことを挙げている。その理由としては、「集団生活の中で、最初は自分勝手な考えばかりしていたが、トラブルを起こしてから、自分一人の無力さを知り、協力や相手のことを考えるようになった」という内容が多く見られた。

内省では、「非行に対する反省」が最も多かった。契機としては、「問題群別指導」や「個別担任の指導」としており、被害者に迷惑を掛けた、苦痛を与えたということに気付きつつあるようであった。「被害者の気持を考える」という直接の内省と合わせると最も変わったと感じている点である。さらに「善悪の判断ができる」を加えると、過去の非行行動についての内省が深まっていることが分かる。

「自分を見つめる、目を向ける、客観的に見る」という自己内省の構えができたことを示す回答が目立ち、その理由には「教官の助言」と「日記」を選択している者が比較的多かった。

その他、「物事をよく考える」「深く考える」「後先を考えるようになった」などが多くいるが、その理由を分析して説明しているものはなかった。注意を引くものとして、「一人で部屋に閉じこもり、自分のことを振り返り、逃げられなかったから」という理由があった。

考え方の項では、単純に、「物事の考え方、見方が変わった」という反応が多く、どの様に変ったかが述べられていない。いろいろな教官との出会いや話を聞いたことを理由に挙げている。一方で、「将来を考える」「前

向きに考える」「目標・目的を持つ」など明確に変わり方を示している反応があり、このように積極的な考え方に変わったと考えてよいと思われる。

「考え方が大人になった」「価値観が変わった、何が大切か分かった」などの反応については、「大人の考え方」や「価値観」の内容についての具体的な説明はなかった。

性格ないし行動傾向に関する項目が最も多かった。中でも「辛抱する、我慢する、諦めない」など嫌なことでも最後まで続けられるようになったことを挙げている回答が多かった。これは実習や作業の辛さに耐えた結果と考えていることを理由に挙げている者が多かった。次に、「気が長くなった」「感情や行動を自制できる」ようになったなどの抑制する力が付いたという反応が多かった。その理由は、「集団生活を上手に過ごすため」や、「進級を遅らせないため」など現実的な必要性によることが挙げられている。その他類似した項目の中で、注目される項目は、「自分の意見を言える、自分の気持ちを伝える」という、自己主張ができるようになったことである。この背景には、「自分が好きになった、自分を大切にする」「自信が持てた」などの変化と関連しているのであろうが、仲間の中で思うことが言えず、引きずられることのある少年にとっては、大きな変化であろう。変化の理由としては、「集会での発言経験」を選ぶ者が多い。

日常生活習慣と分類した項目においては、「仕事の大切さが分かった、働く意欲が出た」など出院後に役立つ変化を挙げていることに留意したい。仕事に対する構えの内容としては、「作業に真剣に取り組む」「作業に意欲を持つ」があり、仕事に対する構えが変わった原因としては、「実科での作業」「院外実習」「職業補導を経験し、自分にもやればできる」「楽しさが分かった」「働くことの意味が理解できた事」などを選択していた。

表8 変わったと思うこと分類表 (男子)

No.	整理項目	N	%	No.	整理項目	N	%
(I 対人関係)				(II 内省)			
1	人の気持ちを考える, 思いやる, 優しくする	209	9.91	1	非行に対する反省	45	2.13
2	家族に対するの気持ち, 関係が変わった	150	7.11	2	物事をよく考える, 深く考える	32	1.52
3	人との接し方, 態度が変わった	42	1.99	3	善悪の判断ができる	28	1.33
4	人と協調・協力する	40	1.90	4	後先を考える, 状況判断をする, 冷静に考える	28	1.33
5	人の意見や話を聞く, 関心を持つ	32	1.52	5	自分を見つめる, 目を向ける, 客観的に見る	23	1.09
6	人の立場・考え方を尊重する, 理解する	26	1.23	6	反省できる, 間違いに気付いた	14	0.66
7	人に謙虚になる・譲る	26	1.23	7	自分で判断する, 自分の考えを持つ	10	0.47
8	人の大切さがわかった	11	0.52	8	決まりを考える	7	0.33
9	人を信用・信頼できる	5	0.24	9	被害者の気持ちを考える	7	0.33
10	間違った交友関係に気付いた	4	0.19	(III 考え方)			
11	その他	9	0.43	1	物事の考え方・見方が変わった	63	2.99
(IV 性格・行動)				(V 日常生活習慣)			
1	辛抱する, 我慢する, 諦めない	138	6.54	1	仕事や働くことの大切さ, 働く意欲が出た	60	2.84
2	感情や行動を自制できる	103	4.88	2	体つきが変わった, 体力がついた	29	1.37
				3	歩き方・言葉づかい・目つきがよくなった	21	1.00
				4	勉強しよう, 学力が付いた, 本が好きになった	21	1.00
				5	作業に真剣に取り組む, 作業に意欲を持つ	15	0.71
				6	整理整頓ができる・物を大切にする	13	0.62
				7	礼儀が身に付いた	4	0.19
				(VI その他)			
				1	単独項目	47	2.23
				2	悪い方向への変化	5	0.24
				合 計		2,110	100.00

表9 変わらなかったと思うこと分類表（男子）

No.	整理項目	N	%	No.	整理項目	N	%
(I 対人関係)				8	積極性がない, 自分から動けない	33	2.22
1	周囲に流される, 人に左右される	43	2.89	9	自信が持てない, 引け目を感じる	32	2.15
2	素直に接触できない, 素直に気持ちを表せない	32	2.15	10	性格が変わらない	30	2.01
3	人の好き嫌いをする, 人を見る, 交際が偏る	31	2.08	11	辛いことから逃げる,	26	1.75
4	仲間と遊びたい, 不良交友に未練がある	25	1.68	12	集中力がない	24	1.61
5	親に対する態度, わだかまり	23	1.54	13	自分に甘い, 自分を甘やかす	23	1.54
6	相手の気持ちを考えない, 思いやりが持てなかった	22	1.48	14	直ぐ落ち込む, 気分を引きずる	22	1.48
7	人に甘えてしまう	22	1.48	15	周りを気にする, 被害的に受け止める	21	1.41
8	人の話を聞かない, 人の気持ちを考えない	22	1.48	16	ずるい, ばれなければいい, 言い訳をする	20	1.34
9	人任せにしてしまう, 人に頼ってしまう	19	1.28	17	けじめがない, メリハリがつけられない	19	1.28
10	人見知りする, 気が弱い, 内気なところ	19	1.28	18	落ち着きがない	16	1.07
11	人を信用できない, 人の嫌なところばかり見る	14	0.94	19	責任感が無い	16	1.07
12	人に対して冷たい, 素っ気ない, さめている	12	0.81	20	我慢できない, 辛抱できない	16	1.07
13	人に悪いことは悪いと言えない,	11	0.74	21	意志が弱い	14	0.94
14	人との付き合い方が下手	11	0.74	22	信念を変えない, 考え方を変えない	13	0.87
15	思い上がり, 人を見下してしまう	8	0.54	23	気分で行動する, 気分の波がある	12	0.81
16	人に頼りすぎる, 自分で判断できない	8	0.54	24	ふてくされる, 投げやりになる, 自棄的になる	12	0.81
17	協調・協力することができない	7	0.47	25	言い訳をしてしまう	11	0.74
18	何でも一人でやってしまう, 誰にも相談しない	5	0.34	26	考えすぎる, 割り切れない	10	0.67
19	人の評価を気にする	4	0.27	27	あきらめてしまう, 投げ出してしまう	9	0.60
20	人を信じやすい	2	0.13	28	思いこみが強い, 周りが見えなくなってしまう	9	0.60
(II 内省)				29	優柔不断なところ, 気持ちの切り替えができない	9	0.60
1	考えずに行動してしまう, 物事を軽く考えてしまう	42	2.82	30	楽しみを求める	8	0.54
2	自分の問題点が分からない,	11	0.74	31	陰ひなたがある	8	0.54
3	状況判断ができない, 周りを確認しない	10	0.67	32	努力することが苦手	7	0.47
4	自己批判・人間が小さい	9	0.60	33	不満を持つ, 不平を言う	6	0.40
5	考えが浅い	6	0.40	34	忘れっぽいところ	6	0.40
6	自分を変えられなかった	4	0.27	35	物事の間に抜けている	5	0.34
7	善悪の判断をしない	4	0.27	36	楽な方へと考えてしまう, 安易に考えてしまう	4	0.27
8	被害者のことを忘れてしまう, 罪障感を感じない	3	0.20	37	行動が粗雑になる	4	0.27
(III 考え方)				38	飽きやすい	3	0.20
1	物事を悲観的に見る, 何事も悪い方に考えてしまう	10	0.67	39	危機感がない	3	0.20
2	将来の目標がたてられない, 生活設計がない	7	0.47	(V 日常生活習慣)			
(IV 性格・行動)				1	目つき・歩き方が悪い	15	1.01
1	感情を顔に出す, 感情的になる, 短気なところ, いらつく	142	9.54	2	勉強ができない, 勉強不足	13	0.87
2	調子に乗りやすい, 軽はずみ, ふざけやすい	77	5.17	3	規則を軽視する, 決まりが守れない	11	0.74
3	気持ちを伝えられない, 意見を言えない	54	3.63	4	言葉づかい	8	0.54
4	我を通そうとする, 考えを曲げない, 人の話を聞かない	54	3.63	5	体力がつかなかった	6	0.40
5	いい加減にする, 軽く考える	50	3.36	6	食べ物の好き嫌いをする, マナーができていない	4	0.27
6	我がままなところ, 自分勝手なところ	49	3.29	7	規則的な生活ができない	2	0.13
7	見栄をはる, 表を飾る, 虚勢をはる	39	2.62	(VI その他)			
				1	単独項目・その他	68	4.57
合 計						1,489	100.00

ウ 変わらなかったと思うこと

表9は、男子の「変わらなかったと思うこと」についての分類である。変わらなかったと思うことは、対人関係に関する項目が多くなっている。最も多かった項目は、「周囲に流される、人に左右される」という被影響性であり、その理由としては「自分に自信がなかったから」「楽な方がよい」「意志が弱かったから」「周囲の人と素直に接触できない」「素直に気持ちを表せない」「不満を持ってしまうから」などが選択されていた。

「人の好き嫌いをする、人を見る、交際が偏る」について変わらなかった理由としては、「自分の都合に合わせてくれればよい」「傷つけられたくないと考えていたから」と述べている。

内省に関する事項は、「考えずに行動してしまう、物事を軽く考えてしまう」と思慮の浅いことが変わらなかったと考えている。理由については「後先を考えなかったから」といった内容の繰り返しが多く、明瞭に述べられていない。

性格・行動に関する項目では、「感情を顔に出す、感情的になる、短気なところ、いらつく」「調子に乗りやすい、軽はずみ、ふざけやすい」など感情のコントロールができないことが最も多かった。変わらなかった理由として、「時間が足りない」「性格だから」と仕方がないを選択している中で、「もっと沢山話し合えばよかった」という内省は注目に値する。次に多かったのは、「調子に乗りやすい、軽はずみ、ふざけやすい」という軽佻さを挙げている。これも性格だからと変わらない理由を選択している他に、「その場を楽しくしたい」「盛り上げたかったから」とも記述していた。さらに、「気持ちを伝えられない」「意見を言えない」など自己主張ができないことと、その正反対の、「我を通そうとする、考えを曲げない、人の話を聞かない」など我執の強いことが続いている。理由

としては「自信がないので自己主張ができず、自分が正しいと思い込むと我を通そうとする」「いい加減にする、軽く考える」「我がまま・自分勝手なところ」が見られた。

日常生活習慣では、変わらなかったという回答は比較的少ない。

エ 女子の変わったと思うこと、変わらなかったと思うこと

男子の回答を整理した表を基に整理した女子の回答が表10及び表11である。回答数が少なく、項目に分けるとさらに少なくなるため分析が困難になるので、比較的回答のまとまった項目についてのみ言及する。

①変わったと思うことでは、対人関係の、「人の気持ちを考える、思いやる、優しくする」と「家族に対しての気持ち、関係が変わった」が、男子と同じく最も多くなっている。

内省においても、男子と同様に、「非行に対する反省」「善悪の判断ができる」が多くなっている。

性格・行動では、「感情や行動を自制できる」「素直になる、見栄や虚勢を張らない」などが男女共通に多い回答だが、「困難や嫌なことから逃げない」が多く、女子の特徴になっている。

日常生活習慣では、「仕事や働くことの大切さ、働く意欲が出た」が多いが、男子の場合ほど顕著ではない。

②変わらなかったと思うことについては、対人関係で、1位から3位まで同じ項目になっている。すなわち、「周囲に流される、人に左右される」「素直に接触できない、素直に気持ちを表せない」「人の好き嫌いをする、人を見る、交際が偏る」であり、いずれも周囲の人との距離を適切に保てないと感じているようである。

性格・行動でも男子と同じく、「感情を顔に出す、感情的になる、短気なところ、いらつく」など感情のコントロールができないところが変わらなかったと考えている。

表10 変わったと思うこと分類表（女子）

No.	整 理 項 目	N	%	No.	整 理 項 目	N	%
(I 対人関係)				(V 日常生活習慣)			
1	人の気持ちを考える, 思いやる, 優しくする	16	7.34	3	素直になる・見栄や虚勢を張らない	12	5.50
2	家族に対しての気持ち, 関係が変わった	18	8.26	4	自分の意見を言える, 自分の気持ちを伝える	3	1.38
3	人との接し方, 態度が変わった	5	2.29	5	積極的になった, 意欲的に動ける	8	3.67
4	人と協調・協力する			6	根気・ねばり強くなった, 最後までやり遂げる	2	0.92
5	人の意見や話を聞く, 関心を持つ	5	2.29	7	性格が変わった, 短気が納まった, 明るくなった	7	3.21
6	人の立場・考え方を尊重する, 理解する			8	困難や嫌なことから逃げない	13	5.96
7	人に謙虚になる・譲る	2	0.92	9	自信がもてた	11	5.05
8	人の大切さが分かった	2	0.92	10	責任感をもてる	5	2.29
9	人を信用・信頼できる	2	0.92	11	努力する・頑張る・真剣にやる	9	4.13
10	間違った交友関係に気付いた	2	0.92	12	後先を考えて行動する, 慎重に行動する		
11	その他			13	集中力がついた		
(II 内省)				14	意志が強くなった		
1	非行に対する反省	5	2.29	15	自分勝手・自己本位な行動がなくなった	5	2.29
2	物事をよく考える, 深く考える			16	自分が好きになった, 自分を大切にする	3	1.38
3	善悪の判断ができる	3	1.38	17	周りに左右されない, 雰囲気流されない	2	0.92
4	後先を考える, 状況判断をする, 冷静に考える	3	1.38	18	自主的に行動する, 自分の意志で行動する	1	0.46
5	自分を見つめる, 目を向ける, 客観的に見る	3	1.38	19	ルールの大切さが分かった・決まりを守る		
6	反省できる, 間違いに気付いた			20	規則正しい生活がおくれる	1	0.46
7	自分で判断する, 自分の考えを持つ			21	嘘をつかない, 隠し事をしない	1	0.46
8	決まりを考える	4	1.83	22	悪いことは悪いという	3	1.38
9	被害者の気持ちを考える			23	計画性・目標を持って行動する	1	0.46
(III 考え方)				24	人を見る目ができた	2	0.92
1	物事の考え方・見方が変わった	7	3.21	25	その他		
2	将来を考える			(VI その他)			
3	前向きに考える	2	0.92	1	単独項目	12	5.50
4	価値観が変わった, 何が大切か分かった	2	0.92	2	悪い方向への変化	5	2.29
5	目標・目的を持つ	1	0.46	合 計			
6	視野が広がる・考え方が柔軟になった	1	0.46			218	100.00
7	考え方が大人になった						
8	現実を見る, 辛いことから逃げない						
(IV 性格・行動)							
1	辛抱する, 我慢する, 諦めない	5	2.29				
2	感情や行動を自制できる	12	5.50				

表11 変わらなかったと思うこと分類表（女子）

No.	整理項目	N	%	No.	整理項目	N	%
(I 対人関係)				8	積極性がない, 自分から動けない	1	0.65
1	周囲に流される, 人に左右される	4	2.58	9	自信が持てない, 引け目を感じる	1	0.65
2	素直に接触できない, 素直に気持ちを表せない	4	2.58	10	性格が変わらない	2	1.29
3	人の好き嫌いをする, 人を見る, 交際が偏る	4	2.58	11	辛いことから逃げる,	4	2.58
4	仲間と遊びたい, 不良交友に未練がある	1	0.65	12	集中力がない	1	0.65
5	親に対する態度, わだかまり	2	1.29	13	自分に甘い, 自分を甘やかす	2	1.29
6	相手の気持ちを考えない, 思いやりが持てなかった	3	1.94	14	直ぐ落ち込む, 気分を引きずる		
7	人に甘えてしまう	2	1.29	15	周りを気にする, 被害的に受け止める	1	0.65
8	人の話を聞かない, 人の気持ちを考えない			16	ずるい, ばれなければいい, 言い訳をする	2	1.29
9	人任せにしてしまう, 人に頼ってしまう	1	0.65	17	けじめがない, メリハリがつけられない	2	1.29
10	人見知りする, 気が弱い, 内気なところ	3	1.94	18	落ち着きがない		
11	人を信用できない, 人の嫌なところばかり見る			19	責任感が無い		
12	人に対して冷たい, 素っ気ない, さめている	1	0.65	20	我慢できない, 辛抱できない	1	0.65
13	人に悪いことは悪いと言えない,			21	意志が弱い	1	0.65
14	人との付き合い方が下手			22	信念を変えない, 考え方を変えない		
15	思い上がり, 人を見下してしまう			23	気分で行動する, 気分の波がある		
16	人に頼りすぎる, 自分で判断できない			24	ふてくされる, 投げやりになる, 自棄的になる		
17	協調・協力することができない	2	1.29	25	言い訳をしてしまう	1	0.65
18	何でも一人でやってしまう, 誰にも相談しない			26	考えすぎる, 割り切れない		
19	人の評価を気にする	3	1.94	27	あきらめてしまう, 投げ出してしまう		
20	人を信じやすい			28	思いこみが強い, 周りが見えなくなってしまう	5	3.23
(II 内省)				29	優柔不断なところ, 気持ちの切り替えができない		
1	考えずに行動してしまう, 物事を軽く考えてしまう	3	1.94	30	楽しさを求める		
2	自分の問題点が分からない	1	0.65	31	陰ひなたがある		
3	状況判断ができない, 周囲を確認しない			32	努力することが苦手	1	0.65
4	自己批判・人間が小さい	2	1.29	33	不満を持つ, 不平を言う	1	0.65
5	考えが浅い	1	0.65	34	忘れっぽいところ	1	0.65
6	自分を変えられなかった	1	0.65	35	物事の間が抜けている	1	0.65
7	善悪の判断をしない			36	楽な方へと考えてしまう, 安易に考えてしまう	2	1.29
8	被害者のことを忘れてしまう, 罪障感を感じない			37	行動が粗雑になる	1	0.65
(III 考え方)				38	飽きやすい	4	2.58
1	物事を悲観的に見る, 何事も悪い方に考えてしまう	3	1.94	39	危機感がない		
2	将来の目標がたてられない, 生活設計がない			(V 日常生活習慣)			
(IV 性格・行動)				1	目つき・歩き方が悪い	4	2.58
1	感情を顔に出す, 感情的になる, 短気なところ, いらつく	25	16.13	2	勉強ができない, 勉強不足		
2	調子に乗りやすい, 軽はずみ, ふざけやすい	5	3.23	3	規則を軽視する, 決まりが守れない		
3	気持ちを伝えられない, 意見を言えない	4	2.58	4	言葉づかい	3	1.94
4	我を通そうとする, 考えを曲げない, 人の話を聞かない	5	3.23	5	体力がつかなかった		
5	いい加減にする, 軽く考える	5	3.23	6	食べ物の好き嫌いをする, マナーができていない		
6	我が儘なところ, 自分勝手なところ	12	7.74	7	規則的な生活ができない		
7	見栄をはる, 表を飾る, 虚勢をはる	5	3.23	(VI その他)			
				1	その他	11	7.10
合 計						155	100.00

4 考察

(1) 社会的スキル尺度

社会的スキルの総合得点の性差については、男子が女子よりも有意に高いことが示された。しかしながら、大川ら（1998）の非行少年を対象にした研究では、有意差は認められていなかった。このような差が見られた原因としては、同研究が少年鑑別所に入所した少年を対象にしたものであり、審判前であることからくる心理的な防衛機制による影響が大きいと考えられる。今回の研究でも養育環境も非行の態様もかなり異なっていることから考慮すると、この結果のみで、非行群では男子の方が女子よりも社会的スキルがよりよく身につけていると一般化することは難しいと言える。

男女ともに社会的スキルを比較して、出院期が入院期よりも有意に高かったのは、初入群において「9 仕事をするとき、何をどうしたらいいか、自分だけではなかなか決められない(逆転項目)」の1項目のみであった。この項目は逆転項目であるため、すでに点数は変換済みであることを考慮すると、実際の仕事場面において、仕事内容及び具体的作業を自らの意志で判断できるようになったことを意味している。この項目については、男子の再入群においても、新入期が出院期よりも有意に高い結果となっており、仕事の内容を意味するものが少年院の職業補導であるとしても、少年にとっては、有意義な体験であると考えられる。

その他出院期に新入期よりも得点が高くなった項目は、男子の初入群において「13 自分の感情や気持ちを、そのまま表面に出せる」「14 一つのことについて、相手によっていろいろ違ったことを言われるとどうしたらいいか分からなくなってしまう(逆転項目)」「18 自分だけで仕事の目標が立てられる」の3項目であり、素直な感情表出が可能にな

ったり、矛盾する情報に対しての対処方略を立てる能力が増したり、自律的に課題に取り組む構えが強まったりといった点について、大きな差がみられている。

また、男子の再入群では、「12 物事がうまくいかないとき、どこがまずかったかをすぐに見つけることができる」についてもスキル得点が有意に高くなっており、仕事の段取りを決めたり、失敗の原因を振り返る構えを身につけたりできるようになったものと思われる。

一方、男女ともに社会的スキルを比較して、出院期が新入期よりも有意に低かった項目は、初入群において「1 人と話しているとき、話がとぎれることはあまりない」「6 まわりの人たちとの間で行き違いがあっても、うまく片付けられる」「8 気まずいことがあった相手とも、うまくやっていける」「16 何か失敗したときに、すぐその場で謝ることができる」の4項目であり、内容としては対人接触の場面において円滑な対応を示すものである。調査対象が非行少年であることを考慮すると、問題場面において、円滑に対応できることのみが大切なのではなく、起きた事態に対峙して問題を解決していくプロセスが少年にとって必要なことであり、この意味からも、出院期は問題をより真摯に受け止めていると解釈できるであろう。

他に出院期が新入期よりも有意に低かった項目として、男子の初入群では「15 初めて会った人に、上手に自己紹介することができる」「17 まわりの人たちとの間で行き違いがあっても、うまく片付けられる」の2項目があり、女子の初入群では「5 知らない人とでもすぐに話が始められる」の1項目であった。男子の内容については、初対面の人に対して、形式的に付き合うことや、周囲との関係と対峙するようになり、女子についても、知らない人に対して距離をおけるようになったと解釈できる。

いずれにしる、この社会的スキル尺度は、他者からの観察に基づくものではなく、本人の主観を得点化したものであるために、自分を良く見せたいとか、こうありたいといった気持ちが働けば高くなるであろうし、冷静に、目標を高く持てば、自己採点は厳しくなり、スキル得点が結果として低く出ることも考えられる。

少年院に入院した直後には、往々にして緊張が強く、周囲の評価も気にして、こうあらねばならないといった気持ちを持ちやすいものといえる。一方で、出院期では、そうした構えは弱まり、冷静な自己分析や内省的な構えを得ていることもあろう。今回の調査においてそうした構えの変化があったかも知れず、得点の増加を一義的に処遇による効果とみなすことには無理があるのかもしれない。

本来、社会的スキルについては、統制された条件の下において第三者の観察等によって客観的に測られることが必要である。また、回答結果を検討するにあたっては、教官の観察等を合わせて行動面に現れた変化を確認していくことも必要と思われる。

(2) 自己内省

変わったと思うこと、変わらなかったと思うこと、という質問に対しては、同じ内容の反応が出現することもあった。例えば、感情のコントロールについて、できるようになったという少年もいるし、相変わらず感情的になりやすいという少年もいるわけである。

そこで双方の回答数を比較して、どちらが多いから、こうだという考察をしたくなるが、それは誤りを犯す危険性があるので今回は言及しない。出院を前にした少年にとっては、変わったという回答をしたくなるのは当然であり、データでは変わったとする回答の方が多くなっているからである。

変わった・変わらなかったの理由について質問した目的は、どのような処遇が関わっているのかを知りたかったのであるが、具体的

な処遇を挙げた回答は少なかった。理由として教官の指導は当然であると捉え、触れられていないことや、質問が曖昧だったことに基因していると思われる。

特に性格や行動傾向に関する項目では、単に「性格だから変わらなかった」という回答が目立った。

全体を概観すると、男女共にかなり似た傾向を示している。例えば、家族に対する気持ちや関係が変わった、人の気持ちを考える、思いやる、感情や行動が自制できるなどの項目で反応が多くなっている。

概括的にみると、今日、非行少年を分析する際に語られる「共感性が欠如している」「切れやすい」などの特徴はこの調査でも出現しており、また、そのことを少年自身が意識していることが推察される。そして対人関係の中の共感性については変わったという意識があり、感情のコントロールは難しいと意識していると考えられる。

5 まとめ

今回の報告では、社会的スキル尺度と出院時の者を対象にした自己内省報告について分析・検討を試みた。結果の解釈に慎重であるべきことは、前回の報告でも述べたとおりであるが、矯正教育の効果については、本人の自己申告のみならず、客観的な指標も含めるなどして、今後もより深く検討されるべきテーマであると考えられる。

最後に、本研究の実施に当たり、調査に御協力を賜った法務省矯正局をはじめ矯正施設の各位に対して、心からの謝辞を表します。

引用文献

- 出口保行・斉藤耕二 1990 共感性の因子分析的研究 東京学芸大学紀要 第1部門教育科学第41集 183-196
- 堀洋道・山本真理子・松井豊編 1994 心理尺度ファイル 垣内出版
- 星野命 1970 感情の心理と教育 児童心理, 24, 1264-1283, 1445-1477
- 菊池章夫 1988 思いやりを科学する 川島書店
- 菊池章夫 1994 社会的スキルの心理学 川島書店
- 菊池章夫・堀毛一也編 1994 社会的スキルの心理学 川島書店
- 大川力・淵上康幸・門本泉 1998 非行少年の自己意識に関する研究（その1）中央研究所紀要, 8, 63-78
- 大川力・長谷川宜志・濱井郁子・茂木善次郎・嶋谷宗泰・中島千加子 2000 在院少年の意識の変容に関する研究（その1）中央研究所紀要, 10, 59-75
- Rosenberg, M. 1965 Society and the adolescent self-image. Princeton Univ. Press
- 山本真理子・松井豊・山成由美子 1982 認知された自己の諸側面の構造 教育心理学研究, 30 (1), 64-68
- 若林満・後藤宗理・鹿内啓子 1983 職業レディネスと職業選択の構造 名古屋大学教育学部紀要, 30, 63-68